

第11全共 西部地区予選会開催

第11回全国和牛能力共進会に向け西部地区予選会が開催されました

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成29年2月3日 | 下関農林事務所畜産部(西部家保)

平成29年1月31日(火)、下関市豊北町の旧滝部家畜市場において第11回全国和牛能力共進会(第11全共)に向けた西部地区予選会が開催されました。

全国和牛能力共進会は、和牛の能力と斉一性の向上を目指し、5年に1度、全国から優秀な和牛が一堂に会し、改良効果を競い合う大会です。

第11回を迎える本共進会は本年9月7日から宮城県において開催され、雄牛及び雌牛の体型の良さなど、改良成果を月齢別に審査する「種牛の部」と、枝肉の状態で脂肪の入り具合などの肉質を審査する「肉牛の部」に全国の代表牛約500頭が出品されます。

山口県からも、「種牛の部」(第2区、第3区)、「肉牛の部」(第8区、第9区)への出品を目指して取り組みを進めているところです。西部地区予選会は西部地区から「種牛の部」の地区代表牛を選抜するために開催されました。

本予選会には、第2区(若雌の1)(生年月日 H28.1.8~4.7)3頭が出品され、厳正なる審査が行われました。

審査の結果、第2区の1頭が西部地区からの代表牛として選抜されました。この代表牛は来る3月17日に山口中央家畜市場で開催される県一次予選会に出品される予定です。

下関農林事務所畜産部は、第11全共への取り組みを通じて、西部地域の肉用牛の振興や肉用牛飼養技術の向上につなげていきます。



審査の様子



審査講評の様子

問合せ先

メール：a171073@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：083-766-1018